

令和6年度 兵庫県立大学環境人間学部入学試験

学校推薦型選抜

帰国生特別選抜

総合型選抜

小論文(120分)

問題冊子

全般的な注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないこと。
2. 試験開始後直ちに、表紙を入れて、問題冊子（6枚）および解答冊子（6枚）があることを確認すること。
3. 試験中に問題冊子および解答冊子のページ落丁・乱丁、印刷不鮮明、汚れなどに気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
4. 解答は、必ず、該当する解答用紙の所定欄に記入すること。
5. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

問題についての注意事項

1. 問題は次のとおり、必須問題2題からなっている。
必須問題 I、II （2題）

空 白

I 次の英文を読み、問いに答えなさい。

The United Nations has projected that sometime this year, for the first time in hundreds of years, China will no longer be Earth's most *populous country; India will *surpass it. Even before China's one-child policy was instituted in 1980, its birth rate had been declining. The country's *incomparable economic growth expanded education and career opportunities for women, and more have chosen to delay or *forgo motherhood even as the number of women of *childbearing age has dropped.

Although people in China are living longer, its population—now about 1.4 billion—has started to decline. The workforce that made China the world's factory has already been shrinking for a decade. By 2050, China could see 500 million people older than 60. This *imbalance between young and old will be China's great challenge.

A continent away, things look different. Nigeria's *median age is just 17, less than half that of China. The *fertility rate there is falling, too, but remains about five times as high as in China. The country's population, now about 224 million, could more than triple by the end of the century. About a third of Nigerians live in extreme poverty, nearly half the number of people living in extreme poverty in India, which has a population more than six times as large. Hunger is already a concern: Millions in Nigeria are at risk of *starvation.

How will we navigate the *simultaneous *booms and *busts? None of these projections *adequately account for the potential strain on Earth's *finite resources. Fish and wildlife are already disappearing quickly, and climate change is becoming the greatest threat in history to *biodiversity, food security, and access to water for drinking and farming.

Yet as extreme heat, rising seas, and severe weather promise to increase migration, our population trends, too, could initiate more movement between countries as those with *dwindling workforces *desperately seek labor from outside their borders. In high-income countries such as the United States, *immigration will drive population growth.

In 1968, when Earth had just 3.5 billion people, biologist Paul Ehrlich, in his famously *dire book *The Population Bomb*, *fretted about overpopulation causing hundreds of millions to die from *famine. Instead, a green revolution—the *widespread adoption of *fertilizers, mechanization, and high-yield crops—transformed agriculture. We are still *hurtling toward a future with far more people—but in some places also far fewer. Will human *ingenuity, and the billions more brains at our disposal, find ways to cope with this new reality? Nigeria and China may be our biggest tests.

(Craig Welch, "Earth's Exploding, Shifting Population", *National Geographic*, pp.39-42, April 2023,一部改変)

- *populous 人口密度の高い、人口の多い
- *surpass 上回る、越える
- *incomparable 比類のない
- *forgo 差し控える、見合わせる
- *childbearing 出産
- *imbalance 不均衡、アンバランス
- *median 中央値 (の)
- *fertility 出生
- *starvation 飢餓、餓死
- *simultaneous 同時の
- *boom ブーム、急激な増加
- *bust バースト、破裂
- *adequately 適切に
- *finite 有限の
- *biodiversity 生物多様性
- *dwindling だんだん小さくなる
- *desperately 不可避免的に
- *immigration 移住
- *dire 恐ろしい、ものすごい
- *fretted 悩む、やきもきする
- *famine 食料不足
- *widespread 広まった
- *fertilizers 肥料
- *hurtling 飛んでいく
- *ingenuity 工夫

【問 1】 本文の内容を 300 字以内の日本語で要約しなさい。

【問 2】 本文に書かれている地球規模での諸課題に対して、日本が果たすことのできる具体的な行動とは何か。あなたの考えを 400 字以内の日本語で書きなさい。

【問 1】、【問 2】 の解答に共通する記述上の注意事項

- (1) かぎ括弧や句読点も字数に含む。
- (2) 数字・アルファベット・小数点は 1 マスに 2 文字まで記載して良い。
- (3) 「CO₂」、「%」や単位記号については 1 マスに記載して良い。

II 次の文章を読み、問いに答えなさい。

インターネットの進展と SNS の普及により、誰もが容易に情報発信・収集を行う事が可能となると同時に情報流通量はかつてよりはるかに増加し、複雑化してきた。新型コロナウイルス感染症をめぐっても様々な主体から真偽問わずあらゆる情報が発信されており、WHO は 2020 年 2 月、パンデミックを宣言する前にインフォデミックの危険性について警告を発し、24 時間体制で監視し、対応する方針を示した。

インフォデミックとは、information (情報) と epidemic (伝染病) の 2 つの言葉を組み合わせた言葉で、信頼性の高い情報とそうではない情報が入り混じって不安や恐怖と共に急激に拡散され、社会に混乱をもたらす状況を指す。デロイトトーマツコンサルティング (2020) の試算によれば、①世界の情報伝達力は 2002 年の SARS (重症急性呼吸器症候群) 流行時から 68 倍に拡大しているという (図 1)。

新型コロナウイルス感染症をめぐると正確な情報をいかに迅速に収集し分かりやすく発信するのか、国や地方公共団体、放送事業者やプラットフォーム事業者を含む民間事業者等が連携しテクノロジーやデータを活用した取組が進められている。

世界はこれまでも SARS 等の数々の感染症を経験してきており、その度に得体の知れない病原体に対する不安や恐怖から生まれた憶測・偏見・デマ等が社会問題となってきた。今回の新型コロナウイルス感染症においても同様に、世界各地で偏見や医学的な根拠のない感染予防法・治療法等に関する誤情報の流布が問題となった。

例えば英国では、「5G が人々の免疫システムを抑え込む」、「5G の電波を通してウイルスが拡散している」といった第 5 世代移動通信システム (5G) が新型コロナウイルス流行に寄与しているとの噂が拡散された結果、携帯電話用の電波塔で放火とみられる不審火が相次いだ。英国政府は 2020 年 4 月 4 日に、5G と感染拡大の因果関係を否定し、通信インフラ破壊が救急・医療活動に支障を来すと警告した。

我が国でも数多くの噂が SNS 等を通じて拡散されており、例えばファクトチェックの推進・普及を目指す NPO 法人であるファクトチェック・イニシアティブが検証し「信憑性が低い」とした情報には、「コロナウイルスは熱に弱く、26~27 度のお湯を飲むと殺菌効果がある」、「新型コロナにビタミン D が効く」等が挙げられており、中には実行した場合人体に危険を及ぼす誤情報も含まれていた。また、医学的な根拠のない感染予防効果を標榜する健康商品等のインターネット広告も多く出現し、消費者庁は 2020 年 3 月 10 日に緊急的に景品表示法 (優良誤認表示) 及び健康増進法 (食品の虚偽・誇大表示) の観点から改善要請等を行うとともに一般消費者への注意喚起を行った。

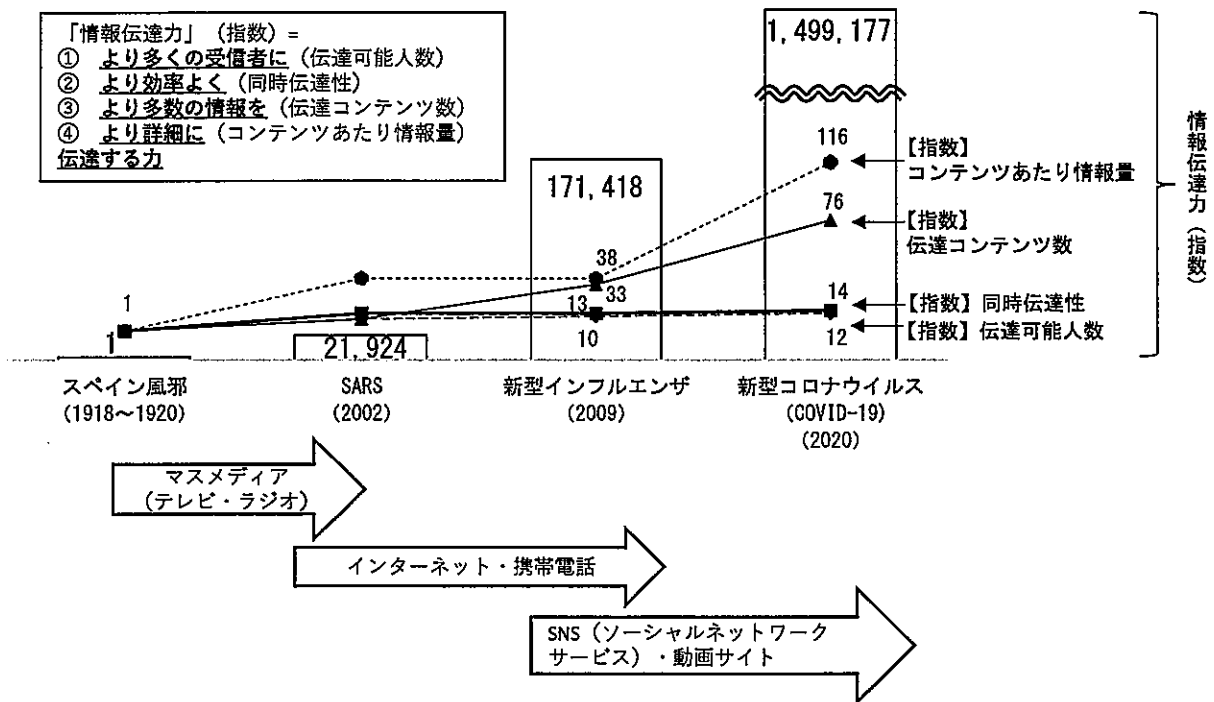
特に 2 月末頃のトイレットペーパーに関する誤情報は、全国でのトイレットペーパー等の紙製品の買い占め問題にも発展し、ニュースでも取り上げられるなど大きな社会問題となった。LINE リサーチによる調査では、②「悪質なフェイクニュース・デマが出回っている」と感じる割合が 2 月 19 日と比較して、このデマが出回った後の 3 月 2 日時点では約 40 ポイント増加している (図 2)。

ただしこの一連の騒動に関しては、情報拡散の経緯等の分析結果から、トイレットペーパーの買い占めは必ずしも虚偽情報を信じたために起きたわけではないことが指摘されている。日本経済新聞

等の分析によると、騒動の発端とされたのは2月27日午前10時過ぎに投稿された「新型コロナの影響で中国から輸入できず、品切れになる」との投稿であるものの、この投稿そのものは全く拡散していないことが判明したという。しかし同日午後2時ごろから「デマを否定する投稿」が急増し、夕方以降にニュースサイトや民放番組も取り上げ始めた結果、翌28日にはデマを否定する累計ツイート数は30万を突破した。日経POSが示した全国のスーパーの販売状況では、デマ否定投稿の急増と同時にトイレトーパーの品不足が進んだ様子が現れており、デマを否定する投稿を見た人々が、噂はデマだと認識したうえで「そんな噂があるなら実際に品不足になるかもしれない」と連想して買い占めに走ったことが騒動の要因になったのではないかと結論付けられている。

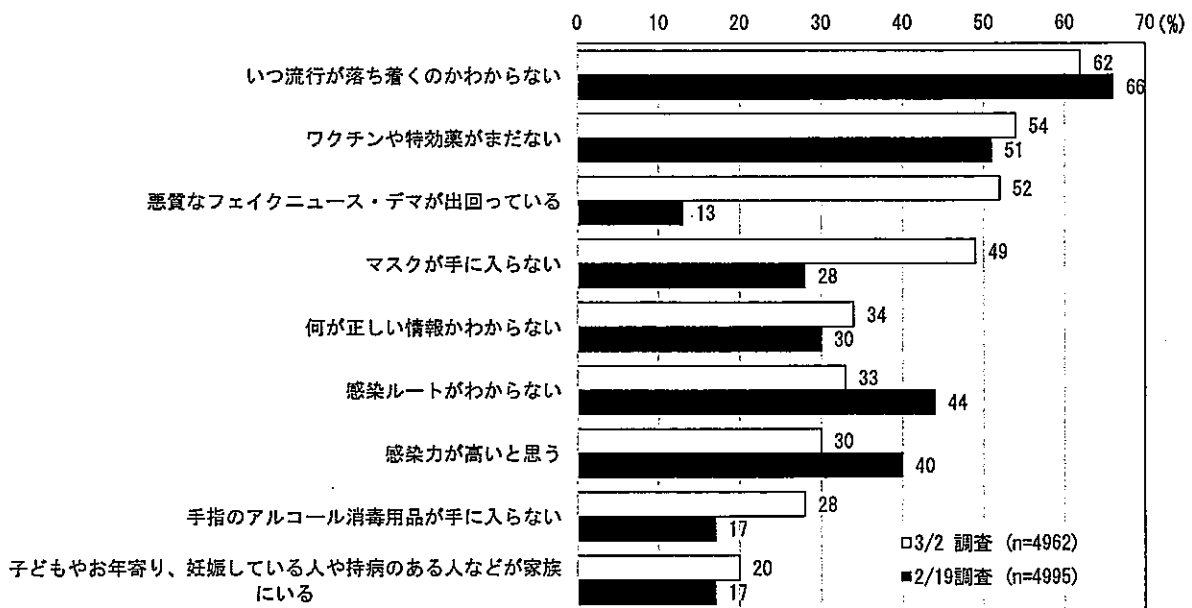
一方で、SNSを活用したポジティブな情報発信も活発に行われた。海外においては、2月下旬にベトナムの保健省が新型コロナウイルス感染症予防のための手洗いを呼び掛ける替え歌とアニメーション動画を、地元の人気歌手グループと共同制作し公開した。親しみやすい歌により人気を集め、TikTok上でこの歌を用いた市民によるダンスチャレンジが流行した。さらにこれが米国のテレビ番組でも取り上げられたことで世界的に拡散され、その後、様々な曲に合わせた手洗い啓発動画が各地で制作されSNSを通じて公開された。我が国でも芸能人らによる手洗い動画が数多く発信されている。また、Instagramを中心に「#IStayHomeFor」（私は〇〇のために家にいる）等のハッシュタグが流行するなどし、外出自粛を啓発するメッセージが市民から発信、拡散された。

（総務省(2020)「令和2年版 情報通信白書 第2章『5Gがもたらす社会全体のデジタル化』」より抜粋、一部改変）



(出典) デロイトトーマツコンサルティング合同会社 (2020) 「1 世紀で 150 万倍に増大した情報伝達力~情報の急速な伝染「インフォデミック」とは」

図 1 パンデミック発生時の情報伝達力の推移 (スペイン風邪流行時を 1 とした場合)



(出典) LINE リサーチ (2020) 「新型肺炎 (新型コロナウイルス) に関する調査結果 (2020 年 3 月 2 日実施)」を一部改変

図 2 新型コロナウイルスの日本国内での感染で心配な点

- 【問1】 下線部①の情報伝達力が拡大した要因は何か。図1も踏まえながら150字以内で述べなさい（かぎ括弧や句読点も字数に含む。数字・アルファベット・小数点は1マスに2字まで記入してもよい）。
- 【問2】 下線部②とも関連し、図2から、2回の調査で調査対象者の不安にどのような変化が読み取れるか。本文の内容も踏まえて、200字以内で述べなさい（かぎ括弧や句読点も字数に含む。数字・アルファベット・小数点は1マスに2字まで記入してもよい）。
- 【問3】 SNSによる情報の特性を本文の内容を踏まえて説明するとともに、これまでに経験したことのない社会が混乱するような状況において情報の収集と発信をする際、どのようなことに気を付けるべきか、あなたの考えを300字以内で述べなさい（かぎ括弧や句読点も字数に含む。数字・アルファベット・小数点は1マスに2字まで記入してもよい）。

空 白